

# 東大理系



受験だけでなく、学問の面白さを教えてくれるSEG



えぞえ はるか  
江副 陽花さん  
東京大学理科 I 類1年  
(白百合卒)



かさむら たくや  
笠村 卓矢さん  
東京大学理科 I 類1年  
(筑駒卒)



そのだ はると  
園田 悠人さん  
東京大学理科 I 類1年  
(桜修館卒)



たなべ もえ  
田邊 萌さん  
東京大学理科 I 類1年  
(桜蔭卒)



うえだ れいいち  
上田 礼一さん  
東京大学理科 II 類1年  
(世田谷学園卒)

---

---

## 体験すれば分かるSEGの授業の魅力

---

—— 初めに、自己紹介を兼ねて、SEGに入った時期と、そのきっかけを教えてください。

**上田** 東京大学理科Ⅱ類の上田礼一です。世田谷学園高校出身です。数学は得意だったのですが、高1になって伸び悩んでいた時期に、知り合いからSEGを「楽しい塾」と勧められました。冬期講習に参加したところ、ここなら成績が上がりそうだと感じたため、通うことにしました。それまでは、数学を「解く楽しみ」しか知らなかったのですが、SEGで数学が「分かる楽しみ」を知ったことが、入塾の最も大きなきっかけでした。

**笠村** 筑波大学附属駒場高校から東京大学理科Ⅰ類に進学した笠村卓矢です。中1のときは塾には通っていませんでしたが、周りの人たちが塾に通っているのを見て、そろそろ通った方がいいと思い始め、最初に行ったのがSEGでした。数学の授業を受けたのですが、そのときの印象が良かったため、入塾を決めました。英語に関しても、外国人講師の授業と多読の授業のどちらもとても新鮮に感じたため、同時に受講し始めました。

**田邊** 桜蔭高校出身の田邊萌です。東京大学理科Ⅰ類に在籍しています。中1の夏期講習からSEGに通っています。仲のいい友人がSEGに入っていて、「今なら友人紹介で、2人とも500円の図書カードをもらえるから」と誘われたのがきっかけです(笑)。塾に通う気はまったくなかったのですが、友人の誘いでもあるし、数学だったら今から通い始めても後々役立つだろうと思って、講習を受けてみました。すると、とても楽しい授業でここなら続けられると思い、そのまま入塾しました。

**園田** 桜修館中等教育学校出身で、東京大学理科Ⅰ類の園田悠人です。中学受験のための塾に通っていて、塾の授業を意外にも面白いと感じていました。中学校を選ぶとき、私立か公立かで悩みましたが、私立だと学費が高くて塾に通えないと思い、それなら公立にして塾に通いたいと思っていたため、中学でも最初から塾に通うつもりでした。小学校のときの塾の系列校に通うつもりでしたが、あるとき両親がSEGを見つけてきて、急に「ここに行って

みろ」と(笑)。SEGの授業が想像以上に楽しかったため、通うことにしました。

**江副** 江副陽花です。白百合学園高等学校出身で、東京大学理科Ⅰ類に進学しました。SEGには、中1の春期講習から通っています。小学校からの持ち上がりで中学に進み、一度も塾を経験していなかったため、両親に春期講習からの塾通いを勧められていました。いくつかの塾に通って選ぶことにしたのですが、授業が一番楽しかったのがSEGだったので、ここに決めました。

---

---

## フレンドリーで親しみやすい雰囲気の授業

---

—— 初めて受けたSEGの授業の印象を、もう少し詳しく教えてください。

**江副** 最初感じたのは、楽しくて自由な塾だなというものでした。初めて塾に通うため、授業についていけないかどうかが不安だったのですが、人数も少なく、問題を解くときも先生がそれぞれの生徒のそばにきてアドバイスをくださるなど、一人ひとりに寄り添ってくれる印象がありました。とても分かりやすく説明してくださるので、楽しく数学を学ぶことができたことを覚えています。堅苦しい雰囲気



が苦手な私には、SEGの雰囲気はとても合っていました。

**園田** 初めての授業は、たしか数学の小林先生だったと思います。具体的には覚えていないのですが、楽しかった記憶があります。英語多読の授業には、強く興味を惹かれ、これなら自然と英語ができるようになるとの印象を受けました。

**田邊** 井上先生の授業が最初だったのですが、教室に入っ  
てすぐに戸惑いを感じたのを覚えています。小学校で通っていた塾では席順が決まっていたため、どの席に座れば

いいのか受付に聞きに行ったことを鮮明に覚えています(笑)。また小学校のときの塾では先生方はみなスーツだったので、桜蔭出身と聞いていた井上先生も真面目な感じの人なのだろうと想像していたところ、派手なメガネをかけて入ってこられたのでびっくりしました。幾何と代数のダイジェスト版の授業で、学校ではまだ習っていない範囲だったのですが、説明が分かりやすく例も適切で、新しいことを学ぶことがとても楽しかったことも覚えています。

**笠村** 僕も井上先生の授業が最初で、先生の印象は田邊

## 受験までの私の勉強法 江副 陽花さん

- 質問項目
- ① 繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？
  - ② 過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？
  - ③ センター対策としてしたこと？
  - ④ SEGの授業の予習・復習の仕方は？
  - ⑤ 学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 青本とクリーム本は、間違えた問題に印をつけて解いたら消すようにし、印がなくなるまで解き直した。</li> <li>② 2次試験の過去問は、センター試験後に10年分解いた。</li> <li>③ センター試験対策は、過去問およそ10年分を、マーク用紙を使用し時間を計って解いた。</li> <li>④ 授業の予習は、すぐに解けない問題があっても諦めずに、時間をかけて丁寧にやっていった。テストゼミの復習は、授業後1週間以内に解けなかった問題のみを解き直し、次の1週間ですべての問題を解き直すという方法で行っていた。</li> <li>⑤ 学力が伸びた時期は高3の春～夏。問題を解くときに何を考え、どうやって方針を立てるのかということ、授業でクリーム本を扱うなかで学んだことで、それまでに学んだことを実戦に活かせるようになったと感じた。</li> </ol>
英語	★★★★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「鉄壁」 隙間時間に繰り返し読んだ。</li> <li>② 2次試験の過去問は、センター試験後に10年分解いた。</li> <li>③ センター試験対策は、過去問およそ10年分を、マーク用紙を使用し時間を計って解いた。</li> <li>⑤ 得意科目だったので、英語力が鈍らないように、少しずつでも英語に触れる時間をとるようにしていた。</li> </ol>
物理	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「名問の森」 テンポよく解ける問題がたくさん載っているの、基本を定着させるために用いた。</li> <li>② 2次試験の過去問は、センター試験後に10年分解いた。</li> <li>③ センター試験対策は、過去問およそ10年分を、マーク用紙を使用し時間を計って解いた。</li> <li>④ 授業の予習は、過去のノートを参照しながら、時間をかけて丁寧にやっていった。テストゼミの復習は、授業後1週間以内に解けなかった問題のみを解き直し、次の1週間ですべての問題を解き直すという方法で行っていた。</li> <li>⑤ 学力が伸びた時期は高3の夏～秋。問題演習やテストゼミを通じて、基礎が定着し、問題を解くときに自然に用いることができるようになった。</li> </ol>
化学	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 演習のテキストは、長期休暇など時間があるときに、総復習するためにも用いた。</li> <li>② 2次試験の過去問は、センター試験後に10年分解いた。</li> <li>③ センター試験対策は、過去問およそ10年分を、マーク用紙を使用し時間を計って解いた。</li> <li>④ 授業の予習は、量が多くて大変だったが、分からない部分は過去のノートを参照しながら解いた。テストゼミの復習は、時間内に解けなかった問題を解き、自分の解答と照らし合わせながら解説を読んだ。</li> <li>⑤ 学力が伸びた時期は高2の秋～冬。基礎演習をしっかりと行ったおかげで、自然と化学の問題が解けるようになった。</li> </ol>
国語	★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「核心古文単語351」 学校で指定されたので、ときどき使っていた。</li> <li>② 2次試験の過去問は、センター試験後に5年分解いた。</li> <li>③ センター試験対策は、過去問およそ10年分を、マーク用紙を使用し時間を計って解いた。</li> <li>⑤ 学力が伸びた時期は高3の冬。古文の単語や漢文の句形を覚え直したのが良かった。</li> </ol>
倫理・政治経済	★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「センター試験 倫理、政治・経済の点数が面白いほどとれる本」 隙間時間に繰り返し読んだ。 「短期攻略センター倫理、政治・経済」 知識のインプットと併行して、12月くらいから2周ほど解いた。</li> <li>③ 過去問およそ10年分を解いた。 問題を解いて答え合わせをするときに、正誤を確認するだけでなく解説をしっかりと読むようにした。</li> <li>⑤ 学力が伸びた時期は高3の冬。問題集を解き始めてから一気に覚えた。</li> </ol>

※表中に出てくる「青本」はSEG高2冬期～高3春期の数学のテキスト、「クリーム本」はSEG高3・4-6月期の数学のテキストです。

さんとまったく同じです。授業の日が2月14日で、チョコレートを配る習慣があったらしく、井上先生に「いい日に来たね」とフレンドリーに言われたこともあって、とても温かい雰囲気を感じました。説明が分かりやすいのはもちろんで、良いところに来たと思いました。

**上田** 僕は木村浩二先生で、微分の授業だったのですが、学校の授業や参考書などでそれまで習ってきたとはまったく違う個性的な説明に驚きました。公式から入っていくものと思っていたのですが、木村先生は微分がどうい概念なのかというところから解説してくださいました。数学が「分かる楽しさ」を感じた瞬間です。微分・積分は苦勞すると聞いていたのですが、僕はSEGの授業を受けたことで、まったく苦勞しませんでした。

## 体を使ったり、笑いを誘ったりしながら 理解を促してくれる授業の数々

— SEGの授業で、印象に残っている授業があれば教えてください。

**上田** 一番印象に残っているのは高2の春期講習です。

確率の単元で、初めて青木先生の授業を受けたのですが、出席の取り方から独特で(笑)、歌うような、息継ぎもなような、不思議なリズムが強烈な印象でした。もちろん話の内容も面白くて、飽きのこない授業です。これまで経験したことのないような切り口で解説してくださり、確率や順列などの考え方も変わりました。

**笠村** 高3の前半に受けた、大澤先生のクリーム本の授業が印象に残っています。大教室がいっぱいになるくらいの大人数が受講していて、座る場所を探すのが大変なくらいでした。クリーム本の問題をあらかじめ解いておき、それを解説する授業なのですが、その解いてきたノートを事前に提出すると、大澤先生が添削をしてくださいます。その添削がものすごくためになりました。青木先生が個性的な説明をしてくださるのに対して、大澤先生はどちらかというとオーソドックスで単純明快な解説をされる感じで、僕にとっては内容がよく頭に入ってくる授業でした。

**田邊** 数学は高1の春の指数・対数のあたりからずっと青木先生の授業を受けており、いつもものすごいスピードと目力の強さに圧倒されていました。前に座っている生徒を当てるスタイルなので、前に座っていると、いつも当てられます。当てられるという緊張感のなかで、頭をフル回転

## 受験までの私の勉強法 笠村 卓矢さん

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去問……12~1月から、30~40年分。</li> <li>●学力が伸びた時期……高3前期。クリーム本をひたすら解いた。</li> <li>●テストゼミや過去問を通して、安定して合格点を取る練習をした。</li> </ul>
英語	★★★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去問……センター後から、10年分ほど(リスニングのみ15年分ほど)。</li> <li>●高3を通して学力が伸びた。テキストやテストゼミをしっかりと解いた。</li> </ul>
物理	★★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去問……センター後から、10年分ほど。</li> <li>●学力が伸びた時期……9~12月。テストゼミの復習をした。</li> <li>●直前期に演習を続けるうちに実力がついた。</li> </ul>
化学	★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●センター対策……高3の初めから、過去問を20年分ほど。</li> <li>●センター対策をやるうちに学力が伸びた。</li> <li>●(2次)過去問……5年分ほど。</li> </ul>
国語	★★★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去問……高1から少しずつ解いていたが、直前は5年分ほど(センターも同様、直前は10年分ほど)。</li> <li>●記述の練習をすることで力がついた。</li> </ul>
倫理・政治経済	★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●過去問……年明けから、15年分ほど。</li> <li>●教科書や資料集を読み込んだ。</li> </ul>

させて答えるようにしていたことで、授業の内容がよく理解できるようになりました。化学は阿部先生の授業です。有機化学で鏡像の関係を、左手と右手を使ってチョークまみれで説明してくださいました。受験期になると、手書きの解説プリントを配ってくださるのですが、それがとてもきれいで見やすく、説明も分かりやすく、重要なポイントをギュッと詰め込んで伝えようとしてくださっていることがよく分かりました。物理は得意ではなかったのですが、根本的なものはコレで、それをどう考えていけばこの式を導くことができるのかといった体系的な授業で、非常にありがたかったことを覚えています。

**園田** 英語の多読の授業は、自分で読んでいる時間が長いため、先生からどんなことを教わったのかということあまり印象にはありませんが、苦手な文法に対しても、なぜそういう表現になるのかを論理的に教えてもらった印象が残っています。

**江副** 化学の吉久先生の体を張った授業をよく覚えています。例えば気体の単元では、気体の分子は目に見えないのでなかなか理解しづらいのですが、吉久先生はご自身が気体分子になりきって、教壇の上を走り回ることで、気体の圧力がどういうものかを理解させてくれました。鏡

像異性体のときも同じように手足を使って説明して下さり、とてもインパクトのある授業でした。日常生活に関わる化学の小話をたくさん紹介して下さり、化学に興味を持って取り組むことができた点でも、吉久先生には感謝しています。

**田邊** 阿部先生も同じで、気体の授業のときは壁から壁へと走っていました。隣の教室の壁からドーンと音がすると、阿部先生か吉久先生が授業をしているなど(笑)。

**笠村** 僕も化学の吉久先生の授業で、特にシャンプーの話をよく覚えています。あまり話すとこれを読んでSEGに入る人へのネタバレになってしまうので、詳しくは話せませんが(笑)、簡単に言えば、シャンプーは同じ量を1回で使うより、半量を2回に分けて使った方が汚れは落ちるということ、平衡の概念を使って化学的に説明してくださいました。非常に印象深く、よく理解できました。

**田邊** 化学の阿部先生は、中和滴定のときに必ず実験道具を持ってきて、「これ何万円したんですよ」とか言いながら実験するのですが、いつもわざと失敗して見せてくれました。

**江副** えっ、あれわざとなの？

**笠村** だって、毎回こぼすよね。

**田邊** わざとじゃないかもしれませんが、笑いを誘いつつ、実際の実験道具の使い方などを教えてくれたのだと思います。センター試験ではそうした問題が出ることもあり、手に入れられる薬品を使って実験してくれたのだと思います。

**江副** SEGの授業は3時間と長丁場ですが、こんな風体や模型や実験道具を使って、インパクトのある授業をしてくださるので、常に集中して取り組めるのかもしれない。

---

## 順序立てて考える力を身につけられた

---

—— SEGの授業を受けたことで、自分にどんな力が身についたと感じますか。

**江副** SEGでは数学の公式や化学の反応式が出てきたとき、それをそういうものだと覚えさせるのではなく、なぜそうなるのかを一つひとつ考えさせられます。そのため、根気強く考えるうちに、問題に取り組むときの忍耐力と自



ら思考する力が身についたと思います。この力がついたおかげで、初見の問題や一見難しく見える問題にも、臆さずに取り組むことができるようになりました。

**園田** 最初の頃は、とりあえず公式に代入するようなことを考えていましたが、SEGで何年も学ぶうちに考え方が変わり、高校に上がる頃には、「順序立てて考える力」が身についたと思っています。物事を積み重ねていくような思考の仕方ができるようになったかなと思っています。

**田邊** みなさんと同じような感想ですが、公式ありきではなく、根本の部分から一度自分の手を動かす経験をするので、根本の部分が頭に入っていれば大丈夫という気持ちを持つことができました。どう解いたらいいかわからない問題でも、根本の部分に戻って考えられる力がついたと思います。実際の入試もそんなふうにして解くことができました。

**笠村** 物事の理屈や理由を考えられるようになったと思います。物理や化学は、やり方によっては暗記で済ますこともできるでしょう。しかし、公式についての理屈を考えることができれば、応用問題にも対処できるようになりますし、何よりも物理と化学を深く理解できるような気がします。数学でも大事な理屈の部分を解説してくださるので、論理的に理屈を積み上げていく力がつきました。

**上田** 本質から教えてもらうことで、その教科の力がつくのはもちろんですが、僕はもう少しテクニク的な面で力がついたと思っています。例えば、絶対に取らなければならない点数だとか、試験時間の使い方といったものです。吉久先生からは「基本が重要だ」「常識を増やせ」と常に言われていましたが、基本問題を大切に作る勉強方法に変えたところ、成績も伸び、安定するようになりました。こうした勉強への向き合い方のようなものも、SEGで身につけることができたと思っています。

---

## SEGの先生や友人の存在が支えに

---

—— SEGに通って良かったと感じることはありますか。

**上田** まずは、宿題の少ないことで、これが高3まで陸

上の部活を続けて充実した高校生活を送ることにつながった要因の一つだと思っています。化学が大嫌いで、薬にもすがる思いで吉久先生の授業を受けたところ、化学が好きになり、進路変更でも役立ちました。大げさではなくて人生を変えてくれた授業だったと思っています。

**笠村** SEGで良かったと思えるのは、振替制度です。僕の学校は行事が忙しく、そちらに時間を割かなくてはいけないときには、なかなか登録している曜日に通えません。しかし、振替ができるので、別の先生の授業を受けることができます。同じ週であれば、どの先生の授業に振り替えても同じ内容を学べます。しかも板書を写すノート係\*の授業ノートがあるため、休んだ授業のノートを見ることができ、本来受けるはずだった授業の内容も確認できます。とてもありがたい制度でした。

**田邊** そのノート係について説明すると(笑)、私はずっと青木先生の授業のノート係をやっていました。板書だけでなく、青木先生がしゃべったことをできるだけ含めて残すようにしていました。ノートはコピーされて、講師室に保管されるのですが、その授業を受けている人はそのコピーをコピーすることができる仕組みになっています。

私がSEGで良かったと思うのは、他校の生徒と仲良くな



\*コロナの影響でノート係は用意できていません。学年・レベルごとに1クラスを撮影したものを視聴できます。

れたことです。頭が良くてやさしい人が多く、受験期になっても、お弁当を食べながら楽しく勉強することができました。

**園田** あまり具体的ではありませんが、まずは勉強を楽しめるようになったことが良かったと思っています。また、学校以外に学ぶ場所があったこともありが良かったです。成績が伸びず、秋の模試でE判定だったとき、学校の先生は浪人を勧めましたが、SEGの吉久先生は「あなたが後悔しない方を選びなさい」と背中を押してくださいました。SEGが「もう一つの学校」として、自分のことをしっかり考えてくれたことに感謝しています。

**江副** SEGでは、暗記や反復ではなく、本質的な理解を促してくださるので、勉強がいつも面白く感じられたことが良かったと思っています。学校生活との両立で大変な

時期もありましたが、SEGに行きたくないとか、SEGの勉強が嫌だとか思ったことは本当に一度もありませんでした。また、勉強面においても精神面においても、支え合えるような友人ができたことも心から感謝しています。その友人たちとは、進学先は違っても交流が続いています。

**上田** SEGには志を高く持っている人が多いので、そういう人たちに揉まれたことが良かったと思います。自分よりレベルの高い人たちが周りにいることで刺激になったり、逆にそういう人たちでも分からない問題があったりすると、僕ができなくてもいいのだと、けっこう励みになったりします(笑)。高いレベルがどういうものかを知ることができたことにも満足しています。

## 受験までの私の勉強法 園田 悠人さん

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受験期のテキストの問題で、できなかったところを繰り返し解いていました。</li> <li>●過去問はセンター試験が終わってから、5年分を試験時間内に解き、自己採点し、できなかった部分は解き直しました。</li> <li>●センター対策は過去問を解き、苦手だと思ったところはSEGのセンター演習を利用しました。</li> <li>●受験期は予習も復習も時間をかけて行いました。学校の進度が遅れていたため、SEGの予習復習を優先的に行いました。</li> <li>●解けなかった問題はどこに着目したら解けたのか、弱点ノートに記していました。</li> </ul>
英語	★★★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単語が苦手なので、SEGの先生に勧められた『英単語 ピーナッツほどおいしいものはない』の銅メダル、銀メダルコースを繰り返しやっていました。学校で配られた英単語集(ターゲット)もそれなりにしていましたが、自分には合わなかったようです。</li> <li>●過去問は夏休み終わりから解き始めていましたが、スローペースで、本格的に制限時間を設けて解き始めたのはセンター試験が終わってからです。センター後は数学と同じく5年分解きました。</li> </ul>
物理	★★★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SEGの受験期のテキストを問題集代わりに使っていました。</li> <li>●過去問は数学と同じ要領で解きました。</li> <li>●高2～高3にかけての講義では、しっかり理解するために授業後の復習として授業内容をまとめていました。数学同様弱点ノートを作っていました。</li> </ul>
化学	★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●強い苦手意識をもって、化学速修をとるまでは触れることさえしたくない科目でした。</li> <li>●結局苦手なままでしたが、化学速修を受講していなかったらもっと悲惨な結果になっていたと思います。</li> <li>●ひたすら覚えるのはとても苦手なので、必ずなぜそうなるのか納得するようにしていました。</li> <li>●弱点ノートも作っていました。</li> </ul>
国語	★ ↓ ★★★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●苦手科目の一つでしたが、最終的には得点源になっていました。</li> <li>●間違ったところはなぜ別の選択肢が正しかったのか論理的に考えるようにしました。</li> <li>●受験直前期も、間違えた部分の分析は常に行っていました。学校の国語の先生に添削をお願いしていました。</li> </ul>
地理	★★★★	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校での定期試験の成績が安定して良かったこと、倫理の成績が著しく悪かったこと、学校の地理の先生とのお縁から、地理を選択しました。</li> <li>●学校の先生からお勧めされた『大学入試の得点源 キーワード地理B』を使用していました。</li> <li>●ただひたすら覚えるだけでなく、流れをつかむようにしていました。</li> </ul>

---

---

## 東大を目指した理由

---

— みなさんが理系に決めたのはいつ頃でしょうか。また、東大を志望した時期やきっかけを教えてください。

**上田** 得意科目が理系に集中していたため、物心ついた頃には理系に興味がありました。当初は東京工業大学を目指していましたが、高2の途中から、東大も狙えそうな成績になってきたので、選択肢の多い東大にシフトしました。システム上は入学してからいろいろ進路を選べますし、文系の人もいるため多様性という面でも東大の方がいいのではないかと思います。理I志望だったのですが、SEGのおかげで化学が嫌いでなくなったこともあって、積極的に理IIに志望変更することができました。

**笠村** 理系に決めたのがいつ頃かは覚えていません。もともと社会が苦手で、何事もなければ理系だと思っていました。東大に決めたのは、学校の近くに東大があって身近だったこともありますし、日本一の大学の日本一の環境で学ぶことに憧れもあったからです。数学が好きなので、高1のときには東大理Iに行きたいと思っていました。

**田邊** 私も理系に決めた時期は覚えていません。私の学校は理系が多いので、流された面もありますが、理系の方が将来の職業が想像しやすかったため、文理を決める中3の終わりに理系を選択しました。東大を意識したのは、志望校を書かされる高2の冬頃です。進学選択制度があることや、笠村君が言ったように良い環境で勉強する方が楽しいだろうと思ったからです。目指せるなら上を目指したいという気持ちもありました。

**園田** 高1までは物理に苦手感がありましたが、天体が好きだし、興味のある分野に行きたいということでなんとなく理系になった感じです。SEGの授業が楽しくて、そのSEGの講師陣に東大出身者が多いことから、おそらく東大の授業は楽しいのだろうと勝手に解釈していました(笑)。ブラックホールとか天体系に興味があり、東大が開催している高校生も参加できる天体をテーマにしたワークショップに参加したところ、そこでの話もやっぱり面白かったので、高2で東大に決めました。

**江副** 国語や地歴より、数学や化学の勉強の方が面白く

感じられ、実際に成績も良かったので、中1の頃から理系に決めていました。高1までは進学先を具体的に考えておらず、東大を勧める周りの声に、少し東大を意識していた程度でした。高2になって模試を受け始め、自分の学力を客観的に認識できるようになると、「もしかしたら目指せるのではないか」と現実味を帯びてきたため、その頃に東大志望に決めました。理Iにしたのは、農学や薬学よりは工学や理学に興味があったからです。

---

---

## 受験のつらさを感じないような工夫も大切

---

— 真剣に受験勉強を始めたのはいつからですか。また、つらい時期をどう乗り越えましたか。

**江副** 先生から、高3の夏休みは受験において重要だと言われたことで、「私は受験生なのだ」という自覚が芽生え、夏から本腰を入れて受験勉強を始めました。秋からはSEGでテストゼミが始まるのですが、以前の問題演習ではけっこう解けていたのに、テストゼミでは物理の問題が急に解けなくなり、かなり焦りました。講義や問題演習で学んだことが自分のものになっていなかったのだと考え、その時期は他の科目の勉強は最小限に抑えて、ひたすら物理の問題を解くことで、壁を乗り越えることができました。基本的には、バランス良く取り組むことが大切ですが、不安な分野や科目があるときは、そこを集中的にやることも、精神的な安定を得るうえでは有効かもしれません。

**園田** 受験を意識し始めたのは、SEGのテキストに「受験」という文字が現れる高2の冬頃からです(笑)。しかも、予習が必須で、その予習にかなり時間を取られます。必然的に勉強せざるを得なくなり、自然と受験モードに入っていました。成績的には、高2のセンター模試でA判定をとって以降ずっとスランプ状態で、自分が東大を受けていいのだろうかと思っていました。しかし、浪人する気はまったくなく、受験勉強がどんなにつらくてもどうせ1年間だからと自分に言い聞かせて勉強をやり続けました。

**田邊** 私の学校では、高2の文化祭で部活が終わり、部活ロスや修学旅行を経て、受験モードに入っていく人が多いため、その影響を受けて、同じ時期に「私もやらなければ」



という気持ちにはなりました。しかし、勉強量的に受験態勢に入ったのは夏からです。クラス分け試験で大好きな青木先生のクラスから落ちたことがきっかけで、夏休みは本当にがむしゃらに勉強しました。秋以降は、受験生の自覚があるときとないときがあり、成績的にもあまり良くなかったのですが、青木先生が面談で言ってくださった「あなたならできるよ」の言葉を心の支えにしていました。本当に物化が伸びたのはセンターが終わってからで、それまではずっとつらかったのですが、それでもとりあえずは机に向かっていました。

**笠村** 僕の学校は11月に文化祭があるので、それが終わるまでは受験生にはなれません(笑)。受験生気分になったのはたぶん高3の12月くらいです。ただし、結果的にこれで良かったと思っています。文化祭がないと、夏からずっと受験生モードでいなくてはならず負担に感じると思いますが、文化祭のおかげでオンとオフを切り換え、メリハリをつけることができたからです。受験は終わるまでは不安ですが、面談に行くと、この点数ならここを目指そうとか、ここここを強化しようと具体的な方針を教えてもらえます。漠然とした不安を和らげてくれたのは、こうした面談でした。

**上田** 最初に受験を意識し始めたのは高1くらいです。高3に入ってからは受験生だとは分かっていたのですが、夏休みまでは漫然と過ごしていました。ところが、夏休みになるタイミングで数学のクラスが落ちてしまったことから、真面目に数学に取り組むようになりました。クラスが落ちたときや英語の過去問が解けないときは、つらいと思いますが、基本的に僕は、つらくなるまで自分を追い込みませんでした。楽しめる最大限の範囲内でやるというのが一番のコツだと思っており、受験勉強も1日10時間はできませんでした。クラス落ちの瞬間はショックでしたが、真ん中のクラスだと、前の方に座れてけっこう緊張感を持って授業に臨むことができます。鶏口牛後という言葉が好きで、クラスを落ちたこともポジティブに捉えるようにしました。ですから受験勉強でも、あまりつらいと思ったことはありません。

**笠村** 一番つらかったのは、センターの「倫政」を覚えることでした(笑)。SEGで理系のことをやっていると、あ



まり覚える練習をしないので、今からこの教科書を全部覚えられないといけませんと言われると、かなり苦痛を感じます。ただ、どうせセンターまでだと割り切ってやりました。SEGの場合は、受験までのクラス分け試験などで苦労はするものの、受験ではスイスイいける気がしています。説明会などでも、SEG生は最後に伸びると言われていますが、その通り、最後の方が順調に伸びていく気がします。

## 受験への向き合い方を教わったテストゼミ

—— 受験でSEGが役立ったことは何ですか。

**上田** 基礎を大事にするという姿勢です。受験に限らず、この姿勢が人間の基本である気がします。SEGに入って改めて基礎の大切さが身に沁み、受験にも役立ったし、現在の生き方にもつながっています。基礎を大事にするというのは簡単に聞こえますし、特殊な能力は不要なので、今すぐにも実践できることです。それを信頼する先生が仰っていたので、自信を持って基礎を重視した勉強にシフトすることができました。

**笠村** ずばり、経験豊富な先生方によるきめ細かな指導です(笑)。長年の受験指導で経験も抱負ですから、受験のテクニック的なことも教えてください。テクニックといっても、小手先の技術という意味ではなく、受験への向き合い方とか、気持ちの持ちようといった精神的なものも含めてのテクニックで、受験では大いに役立ちました。

**田邊** 最終的にはSEGのすべてが自分の自信につながったと思います。分からなくなっても根本に戻れば良いと考えられましたし、こんな素敵な先生に教わったのだから自

## 受験までの私の勉強法

田邊 萌さん

### 質問項目

- ① 繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？
- ② 過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？
- ③ センター対策としてしたことは？
- ④ SEGの授業の予習・復習の仕方は？
- ⑤ 学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 青本、クリーム本は、授業での先生の解説を細かく思い起こしながらかなり解きこみました。</li> <li>② 過去問はセンター試験が終わってから8年分解きました。</li> <li>③ 毎回必ず時間を計ってマークシートのコピーを使って解き、最初の方は解き終わらないので時間を超過した後も解き続けて何分超過したかをメモしておき、早めに解き終わっても見直しをするなど制限時間いっぱいを使って演習していました。12月中旬からはほぼセンターの勉強しかしていないので解ける年数分を逆算してとにかく演習をつみました。</li> <li>④ クリーム本の予習は時間もかかるし大変で、恥ずかしながら手が回りきらないこともあり。復習は解答の書き方も含めて先生の解答を一字一句真似する気持ちで先生の解説を思い出しながらしていました。</li> <li>⑤ 正直学力が伸びたという実感は薄かったのですが、それまでの勉強がやっと実ったのはセンターが明けて過去問を解き始めてからで、過去問がだんだん解けるようになっていったので学力が伸びた、というか形になってきたのかなと思いました。</li> </ol>
英語	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 英語は他塾に通っていたので、他塾の教材を繰り返し何度も音読、復習していました。</li> <li>② 過去問はセンターの勉強を始める12月中旬より前に2年分ほどやってどういうものを把握し、センターの勉強の気分転換に2年分くらい解き、センター後は赤本に入っている7年分を解きました。</li> <li>③ センターのみの対策は特にしませんでした。塾の宿題や復習をしていて英語力が2次の問題を解けるレベルに達しているとしたら、センター用の勉強は余時間の使い方（見直しをした時によく間違いを見つける問題の傾向を把握し、その問題から見直すようにするなど）以外必要ないと思います。</li> </ol>
物理	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 受験物理演習の問題集は何周もしました。テストゼミの問題も授業後に復習した後、2周はしました。</li> <li>② 過去問はセンターが明けてから8年分ほど解きました。</li> <li>③ センター用の勉強は他の科目と同様過去問を解くことしかしませんでした。数学のところにも書きましたが毎回時間いっぱいを使って本番と同じように演習するのは大事だと思います。</li> <li>④ 予習はどの科目もまだ実力がまっくなくなかったのもあり、とても大変で解けない問題が多かったです。復習は自分でまず思い出しながら問題を解いて先生の解説を読んで答合わせや直しをするという形をとっていました。</li> <li>⑤ 物理はテストゼミの初期は後ろから順位を数えた方が早かったのですが、最後に近づくにつれて安定して上の方になり、特にセンター後の2次対策の勉強をしている時にどんどん過去問が解けるようになって実力が追いついてきたのを感じました。</li> </ol>
化学	★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① チェックシートと受験化学演習の問題集は何度も何度も解きました。</li> <li>② 過去問はセンターが終わってから8年分ほど解きました。</li> <li>③ 化学はそこまで見直しをたくさんするほどの時間の余裕はなかったので、より速く正確に解くためにセンター対策としてはチェックシートを何周かしました。</li> <li>④ 化学も例に漏れず予習では解けない問題が多かったです。復習は、まず問題を解き直して先生の解説を見直した後、その分野のノートを見返して原理を確認しながら進めていました。</li> <li>⑤ 化学は最後の最後までテストゼミでも点数が取れず焦っていましたが、センターが明けて過去問を解きだしてから過去問がある程度は解けるようになり、少し学力が追いついたのかなと思いました。</li> </ol>
国語	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 古文については学校がかなりしっかり中3の頃から古文をやっていたので、学校の長期休みの宿題だった全文現代語訳や品詞分解を真面目にやっており、古文の単語帳は学校で配布されたものを使いました。繰り返し使ってはいませんが、古文とその全訳や品詞分解と解説がたくさん載っていた市販の問題集をたまに息抜き程度に解いて全訳したりしていました。漢文は学校で配られた自習教材の問題を解いて音読して構文を確認していました。</li> <li>② 過去問はセンターが明けてから8年分ほど解きました。</li> <li>③ 古文は自分が間違えやすい文法事項の確認と、あとはひたすら単語帳を覚えていました。他の教科と同様、12月中旬からはセンターの勉強に明け暮れていたので過去問演習はかなりしました。漢文は構文の確認と、あとはひたすら過去問演習をしました。国語はかなり時間に余裕があったので、選択肢を読む前に問題文を頭の中で訳しながら読み、問題を解くという形で演習していました。</li> <li>⑤ 過去問を解き始めた頃と2次が終わる時の学力の差は古文の単語力以外あまりなかったように思います。</li> </ol>
地理	★★★★	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 地理は時間をとるといよりも通学の時間に『山岡の地理B教室』を読んで、あとは学校の授業を真面目に聞きました。この参考書を選んだのは単に通学時間につき革につかまって読むとしたら軽いものがないなと思ったからです。学校で買われたデータブックや地図はよく息抜きに書き込みをしたり眺めていたりしました。</li> <li>③ センター地理の過去問は河合出版の黒い過問集に載っている分は全部解きました。</li> <li>⑤ 上記の参考書を2周くらい読んだ後に過去問を解き始めたのですが、最初と最後で学力の差はあまり感じませんでした。ただ参考書を読破せずに解いていたらあまり解けなかったと思うので、参考書を読み終わった頃に学力がついたのだと思います。</li> </ol>

分にできないわけがないと信じ込むことができました。また、帰り道に友人と「もう無理」と言いながらも励まし合って勉強してきたのだから大丈夫だと思えました。これらすべてが受験に立ち向かう勇気を与えてくれました。

**園田** 一つは、数学の解き方です。青木先生から「部分点ではなく、満点をとった方がより点がとれる」という話を聞いて、解くときは問題文に下書きを書き、解答用紙にそれを清書する方法を教わりました。「そこで間違いをチェックできるからお得でしょう」と(笑)。本番でも実際にその方法で解きました。もう一つは、合格に必要な具体的な点数が与えられたことです。高3の1学期は、できるだけ多く得点して合格したいと考えていましたが、テストゼミ以降は、どこで何点とったらいいかの目標がちゃんと設定されます。道筋が定まってきて、やるべきことが明確になるという面で、非常に助かりました。

**江副** 本質的なところからの理解を促してくださるので、確かな実力が身についたと思っています。自分で考える力が育つため、入試での未知で難解な問題にもじっくり取り組むことができます。その力が合格につながったと思っています。入試本番にどう向き合うか、時間配分をどう考えるか、問題を見たときにどういうふうに関わるかを決め

るかなどについて、毎回繰り返し教えてくださるテストゼミも、本当に役立ちました。教えていただいた手順を思い返しながら解いたことで、十分実力が発揮でき、合格できたのだと思っています。

**笠村** 試験への向き合い方には参考になるアドバイスが多かったと思います。吉久先生は英語が嫌いだったので、授業でも、英語ができないのいかに英語の点数を取ったかということの話されますが、それが分からない問題や苦手な科目に向かうときの参考になりました。小手先のテクニク的なものではありませんが、1点でも多く点数を取ろうという姿勢を十分に感じることができました。

---

## コロナ禍でも大学生活をそれなりに堪能

---

—— 大学生活について教えてください。

**江副** 秋から対面授業が一部再開されて、隔週で週2日キャンパスに行っています。キャンパスに通い始めて、クラスのみんと一緒に授業を受ける経験ができて、やっと大学生になった実感が湧いてきました。それまでも、同じクラスの友人とは、週に2~3回はZoomを開いて、おしゃべりしたり、勉強を教え合ったりしていましたが、実際に会えるようになったことで、新しい環境に身をおけて新鮮な感じがしています。大学は、授業も面白いのですが、クラスの友人たちがそれぞれ興味や関心のあることをいろいろと話してくれることで、視野が広がっていく感覚がとても気に入っています。サークルはアコースティックギターで弾き語りをするサークルと、アカペラのサークルに入っていますが、両方ともほとんどオンラインでの活動です。9月に「五月祭」があったのですが(笑)、そこで初めて対面でのサークル活動を行うことができました。

**上田** 僕のクラスは、クラス単位で行動することが少なく、今日も大学に行ったのですが、誰もしゃべらずにただ行って帰ってきたという悲しい大学生活を送っています(笑)。ただ、最近オリエンテーションサークルと、ヤクルトスワローズを応援するサークルの2つに行き始めて知り合いができるようになりました。そこで意識の高い人たちと話ができ、人間として成長できそうな期待も膨らんでしまし



た。大学には隔週で週2回通っていますが、サークルを通してやっと自分が大学生になったのだという実感が湧いた感じです。

**園田** 現在は、隔週で大学に通うことになっていますが、僕の場合はその週がずれていて、基礎実験の週と、身体運動・健康科学の週が交互に訪れます。オンライン授業でITC-LMS（情報基盤センター学習管理システム）にログインすると「東京大学」と出てくるので、その瞬間だけは東大生になったと思えるのですが（笑）、それ以外のときは受験勉強の続きをやっている感じです。キャンパスには週1回しか行っていませんし、他の授業はみなオンラインで、課題が出てそれをこなしているだけですから、やっていることは受験生と変わりません（笑）。進学選択制度のために成績を上げなければならないので、結局、悩んでいるところも受験期と変わらなくて、まんま受験生活です。サークルも入るタイミングを逃して、もう入らなくてもいいかという気分になっています。

**田邊** 私は逆に、課外活動はけっこう充実しています。サークルではなく、部活の東大オケに入っているため、毎週月、木、金の放課後と、土日外部施設を借りて対面で練習しているほか、バドミントンのサークルにも入っています。クラスにも仲の良い友人ができ、夏休みも感染対策をしっかりしたうえで、集まって遊んだりしていました。ほとんどの授業はオンラインですが、家で1人で勉強するよりは友人と並んで勉強する方が楽しいので、大学に申請して週2～3回キャンパスに通っています。授業に関しては、今のところはSEGの先生の方が教え方が上手くて、楽しかった印象があります。化学の授業で「これ、SEGで根本から説明してもらった」と思って怠っていたところ、テスト直前になって「えっ、こんなに進んでいたの」と後悔したこともあります（笑）。

**笠村** みんなと同じで、隔週で週2回クラスのみなどと会えるようになって、大学生になった感覚が生まれました。ただ、家が大学から遠いのでサークルには入っていません。課題が増えていることもあり、なかなかサークルに入りづらいというのが正直なところです。趣味でバイオリンをやっているのですが、田邊さんのようにオーケストラに入ると週3で練習があるので……（笑）。大学の授業は、面白い

先生と面白くない先生がいて、退屈な授業でもみんなと一緒に受けていれば多少は気が楽になるのですが、それがないので、こちらもけっこう大変です。

---

## 東大の環境を十分に活かして学びたい

---

—— 在学中にやってみたいことはありますか。また将来の抱負についても聞かせてください。

**笠村** 数学が好きなので、数学に関連することを勉強したいなと思っています。以前は数学科に進もうと考えていましたが、最近になって、東大には数学を学べるいろんな学科があちこちにあることを知ったので、迷い始めています。成績が良くないと進学選択制度で人気の学科に行けないので、当面は、ある程度進学選択制度のシステムに身を任せて、進んだ学科で自分の好きなことを見つけてやってみたいと思っています。将来の希望としては、数学とか情報系を活かせるようなことを仕事にしたいと思っています。

**上田** SEGで化学に興味を持っていたこともあって化学科に進むつもりでいますが、一方で、あんなに嫌いだっただ化学に興味を持っていたということは、最悪化学科に行けなかったとしても、行った先の学科が自分にマッチするかもしれ



ないとも思っています。成績のことを考えるとつらいので、今は好きな授業を取るようにして、自分の行った学部・学科で活躍できればいいと考えています。将来は特に決めていませんが、企業に勤めるなら研究職がいいと考えています。SEGで教わったことで、教えることも楽しいのではないかと思い、教員免許の取得も考えています。

**江副** 情報通信系に興味を持っているので、まずは、進学選択制度で学部を決める参考になるように、学内のさまざまな研究室を訪問してお話を伺ってみたいと思っています。サークル活動で、みんなで演奏することもやってみたいです。将来は、情報通信の分野で応用研究をして、社会の役に立つ仕事をしたいという希望を持っています。

**園田** 課題をこなし、二度寝し、趣味の活動をする1日が終わるため、やりたいことなんて考えられないというのが本音です(笑)。ただ、今でも天体に興味があるので、できれば、そっちの方面に進みたいと思っています。将来はもっと漠然としていて、せっかく東大に入ったので、いろんなことや人に触れてみたいと思っています。現在はこんな状態なので、ほとんどクラスメイトとしか話せていま

せんが、英語の授業で文系の人と話す機会があると、文系ってこんな考え方をするのかなど、いろいろ面白い発見があります。そういうことを見聞きしたうえで、将来を決めていければいいなと思っています。

**田邊** 私も課題で精一杯です。夏休み前には、英語を頑張っ、コロナ収束後に学内でいろいろな活動をしようと考えていましたが、結局、これまでの人生で初めてこんなに遊んだ夏休みを過ごしてしまい、全然勉強しなかったことを少し後悔しています。東大に入った以上は、やはり与えられた機会を存分に活かしたいと思っています。東大入学後に物理が楽しいと思えるようになり、工学系の建築や都市計画の方面への興味が膨らんでいます。

## 学ぶ楽しさ、学問の面白さを知ってほしい

——最後に、これからSEGに入塾する方へ向けてメッセージをお願いします。

**田邊** SEGで、あのときこうしていれば良かったと後悔

## 受験までの私の勉強法 上田 礼一さん

### 質問項目

- ① 繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？
- ② 過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？
- ③ センター対策としてしたことは？
- ④ SEGの授業の予習・復習の仕方は？
- ⑤ 学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★★	① 学校の問題集、クリーム本をほとんどすべての問題ができるまで繰り返した。 ● 先生に言われた通りに、できない問題は解答を写し、できるようになるまで繰り返し解いた。
英語	★★	① 音読をしていた(他塾のテキスト)。 ● 英作文のために基本例文の暗記をしました。ここでいう基本例文は文法書の後ろに載っているもので、これは文法の訓練にもなるのでお勧めです。
物理	★★★	① 「セミナー物理」の基本問題、発展例題を瞬時に解けるようになるまで繰り返した。
化学	★★★★	① センター試験の過去問、「鎌田の有機化学の講義」 ④ 化学速修の授業を受けていたが、基本的に復習しかしていなかった。
国語	★★★★	① センター試験と2次試験の過去問をひたすら解いていました。 ③ センターに向けて、『生きる小説語句』を年明けに気休め程度にやっていた。 ● 古文・漢文はセンターの文章に出てきた単語や文法だけ覚えた。
日本史	★	① 「金谷俊一郎のセンターはこれだけ! 日本史B」を読み込み、覚えていなさそうな単語は何度も書いた。 ● 6月に軽い気持ちで地理から変えたのですが、年明けが地獄になるのでお勧めしません。科目選択は慎重に判断してください。

- ② ・センター試験に関しては、全科目、12月中頃から約10年分の過去問を解いた。  
・2次試験に関しては、全科目、センター明けに約5年分の過去問を解いた。  
・私大の過去問は3ヵ月ほど前からまとめて1~2年分の過去問を解いた。

していることがたくさんあります。中学から入る人は、時間があるうちにチャレンジ問題を解いて頭を柔らかくしておくといいと思います。SEGは自主性に任されている塾ですが、考える楽しさと学ぶ楽しさが分かれば、勉強はそんなに苦ではなくなります。一つひとつのことをしっかりやっていけば、受験という面ではそんなに心配することはありませんし、いろんな科目を好きになれるので、楽しんで通ってほしいと思います。

**園田** SEGに入ると、おそらく多くの人が周りのすごい人たちをみて、「やばい、自分は全然だめだ」と思う瞬間があると思います。僕はわりと早く思ったのですが、そのときに、「授業は楽しいけど周りがすごいから逃げちゃおう」ではなく、「楽しいからこの授業を受けるために食いついてみよう」という気持ちを持ってほしいと思います。自分がそうだったから確信を持って言えます。

**江副** SEGの先生方はいつも熱意溢れる最高の授業で、私たちにその科目の面白さを教えてくださいます。SEGの授業に真剣に取り組み、楽しみながら勉強していれば、

必ず確かな実力がついてきます。何も心配せず、先生方のご指導にしたがって受験勉強を頑張ってください。

**上田** 勉強が嫌いで、化学が苦手で……という僕には、トップレベルの学校の人たちと一緒に勉強するSEGは怖い、間違えたら恥ずかしいという気持ちがありました。しかし、SEGは、勉強が嫌いな人や、ある科目について苦手意識を持っているような人にこそ合っているのではないかと考えています。合格実績とかレベルで敬遠するのではなく、一度は講習で授業を体験して、勉強がいかに楽しいかということを知ってもらいたいと思います。レベルの高い学校の人も、けっこう勉強が嫌いだったりすることも分かります……(笑)。知らないで怖がるのは本当にもったいないと思います。

**笠村** SEGは受験だけにとらわれず、学問の面白さを教えてくれる塾です。SEGに入ったみなさん、これから入るみなさん、ぜひ自由にのびのびと、楽しく勉強してください。SEGは本当に素晴らしい塾です。

